

館長 (特命准教授)	伏見 裕利	Curator	Hirotooshi Fushimi (Ph.D.)
技術補佐員	林 珠央	Associate Professor	
		Research Assistant	Tamao Hayashi

## ◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

## ◇活動概要

## I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 28,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベースを順次開発し、生薬標本情報並びに学術情報を整理し、構築している。第 16 改正日本薬局方及び中華人民共和国薬典 2010 年版の記載内容に改変した。

## II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』収載品で、鉱物性生薬を中心に 7 項目の翻訳を進めた。

## III) 「民族薬物資料館」ニュースレターの刊行

民族薬物資料館内部の展示物などを紹介したニュースレター (第 7~10 号) を刊行した。

## IV) 「民族薬物資料館」目録[Ⅲ]の作成

民族薬物資料館に保存されている生薬 28,000 点の中で、「傷寒論」及び「神農本草経集注」に記載のある生薬 21 種類 116 点について、目録[Ⅲ]を作成した。民族薬物データベースの記載内容、生薬写真、及び証類本草データベースの記載等を抜粋し、注釈を加えた目録とした。

## V) 「ひらめき☆ときめきサイエンス事業」の実施

日本学術振興会主催による研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI～」の一環として、平成 26 年 8 月 8 日 (金)、9 日 (土) に民族薬物資料館で中学生・高校生を対象とした和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！～杉谷の里山で和漢薬体験～」を実施した。参加者は 2 日間で 22 名。

## VI) 一般公開

第 23 回民族薬物資料館一般公開：平成 26 年 6 月 1 日 (午前 10 時～午後 4 時)

1 日 3 回各 1 時間、葛根湯や大建中湯など、日本でよく使用されている漢方方剤を中心に解説を行った。来館者は 32 名。

第 24 回民族薬物資料館一般公開：平成 26 年 8 月 1 日 (午後 1 時～4 時)

1 日 3 回各 1 時間、主に小学生を対象としたクイズラリー形式の参加型説明会「夏休み薬草探検－薬草博士になろう！－」を行った。また午前中は富山大学男女共同参画推進室による学童保育参加者を招いて同様の説明会を行った。来館者合計は 57 名。

第 25 回民族薬物資料館一般公開：平成 26 年 10 月 25 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間，資料館内を案内すると共に，チベット医学における四部医典タンカを紹介した。さらに東洋医学講座として，薬剤師でありチベット医でもある「森のくすり塾」主宰の小川康氏による「チベット医学とヒマラヤの薬草」を開催した。来館者は 80 名。

#### ◇著書

- 1) 伏見裕利：第 5 章鉱物の毒と薬，「おもしろサイエンス 毒と薬の科学」，佐竹元吉編集，p.75-83，p.86，日刊工業新聞社，東京，2015，1.

#### ◇原著論文

- 1) Tsugunobu A., Ryo K., Hirotohi F., Katsuko K., Naotoshi S., Yasushi K.: Effect of Goshajinkigan, Hachimijogan, and Rokumigan on Mechanical Allodynia Induced by Paclitaxel in Mice. *J Tradit. Complement. Med.* 2014, 4, 293-7.

#### ◇学会報告

- 1) 伏見裕利：民族薬物データベース作成委員会，証類本草データベース作成委員会：民族薬物資料館ポスター．国立大学博物館等協議会 2014 年大会（第 9 回博物科学会），2014，6，19-20，松山．
- 2) 梅寄雅人，伏見裕利，春木孝之：富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館における情報技術を応用した展示資料の見せ方，国立大学博物館等協議会 2014 年大会（第 9 回博物科学会），2014，6，19-20，松山．
- 3) 北村亮，安東嗣修，伏見裕利，小松かつ子，柴原直利，倉石泰：オキサリプラチン処置マウスにおける牛車腎気丸の抗アロディニア作用への下行性疼痛抑制系の関与，第 31 回和漢医薬学会学術大会，2014，8，30- 31，千葉．
- 4) 浅沼舞，中村正倫，山路誠一，伏見裕利：本草文献にみられる『紫参』の性状記載について．第 31 回和漢医薬学会学術大会，2014，8，30- 31，千葉．
- 5) Anjiki N., Fushimi H., Fushimi N., Kawahara N., Goda Y.: Origin of the 'Huashi' (滑石) in Taipei markets: The 8<sup>th</sup> JSP-CCTCNM-KSP Joint Symposium on Pharmacognosy, 2014, 9, 13, Fukuoka.
- 6) Fushimi H., Fushimi N., Komatsu K.: Investigation of Japanese folk medicines for enriching the contents of the Ethnomedicine Database. The 8<sup>th</sup> JSP-CCTCNM-KSP Joint Symposium on Pharmacognosy, 2014, 9, 13, Fukuoka.
- 7) Fushimi H., Fushimi N., Zhu S., Komatsu K.: A list book recording the precious articles in the Museum of Material Medica, Institute of Natural Medicine, University of Toyama. The 8<sup>th</sup> JSP-CCTCNM-KSP Joint Symposium on Pharmacognosy, 2014, 9, 13, Fukuoka.

#### ◇その他

- 1) 伏見裕利：生薬として用いる動植物，富山のくすし，第 1 回漢方医学と生薬講座，2014，4，12，富山．
- 2) 伏見裕利：繁用生薬の紹介と本草書の記載，富山のくすし，第 4 回漢方医学と生薬講座，2014，7，26，富山．
- 3) 伏見裕利：丸薬づくりと資料館案内，和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2014，8，21，富山．
- 4) 伏見裕利：月刊和漢薬 734 号，p.1.全国薬草シンポジウム 2014 in HIDA に参加して，2014，7．

- 5) 伏見裕利：生薬として用いる動植物。富山市民大学講座，2014, 10, 3，富山。
- 6) 小松かつ子，伏見裕利：現地学習，富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館の紹介。富山市民大学講座，2014, 10, 17，富山。
- 7) 伏見裕利：漢方を体験する。トムズプレス 30号 p.10-11，富山大学，2014, 10, 15，富山。
- 8) 伏見裕利：富山市売薬資料館，富山市民俗民芸村開村 35周年記念 連携企画展「花と実」薬になる花・実の展示協力，2014, 7, 2-10. 5.
- 9) 伏見裕利：富山県中央植物園行事「くすりの植物」コーナー開園 1周年記念「売薬版画と富山のくすり」の展示協力，2014, 9, 5.-10. 29.
- 10) 伏見裕利：和漢薬にふれる，富山県生涯学習カレッジ富山地区センター・ふるさと文化探求講座，2014, 11, 8.
- 11) 伏見裕利：薬史レター第 73号. p.12.日本薬史学会，2015, 3.

## ◇共同研究

### 学内

- 1) 小松かつ子（和漢医薬学総合研究所）：薬用植物の多様性を基盤とする栽培拡充戦略—ブランド生薬の作出，2012～.

### 国内

- 1) 川原信夫：独立行政法人医薬基盤研究所，「各種漢方処方に配合される鉱物生薬カッセキの性状，確認試験等に関する検討」，2007～.
- 2) 三宅克典：金沢大学医薬保健研究域薬学系，「国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査」，2012～.

## ◇研究費取得状況

- 1) 平成 24 年度厚生労働省科学研究費補助金，創薬基盤推進研究事業（研究協力者：伏見裕利）「薬用植物の多様性を基盤とする栽培拡充戦略—ブランド生薬の作出」20 万.
- 2) 厚生労働省科学研究費補助金，医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業，「生薬の品質確保と国際調和に関する研究」，30 万.
- 3) 日本学術振興会主催，ひらめき☆ときめきサイエンス，和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ」，40.3 万.

## ◇記録

### I) 見学者（2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日）

来館者総数：1,009 名（日本人 913 名，外国人 96 名）

案内総回数：91 回（日本人 78 回，外国人 13 回）

外国人の国名(人数) 韓国(36)，中国(21)，ドイツ(14)，インドネシア(11)，タイ(10)，南アフリカ共和国(2)，アメリカ，スウェーデン(各 1)

主な来館者の所属先 【海外】韓国（ソウル大学、韓国漢方産業振興院など），インドネシア（ハサヌディン大学），タイ（コンケン大学），中国（北京大学，雲南農科院など），南アフリカ共和国（南アフリカ標準局），米国（ミシシッピ大学），スウェーデン（ウプサラ大学），他

【国内】文部科学省，国文学研究資料館，国公立大学 13 校，富山県立富山いずみ高校，富山県立富山中部高校，石川県立田鶴浜高校，富山市民大学講座，富山県，富山市，他

### II) 民族薬物データベース（2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日）

アクセス数：4,817 件

専門検索アクセス数：694 件（日本語 650 件，英語 44 件）

専門検索登録者数： 32名（日本語 27名，英語 5名）（全 1,525名）  
一般検索アクセス数： 701件（日本語 607件，英語 94件）

Ⅲ) **証類本草データベース** (2014年4月1日～2015年3月31日)

アクセス数： 865件（試用版 184件）

専門検索登録者数： 19名（全 283名）